

地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

金沢大学

金沢大学は、1862（文久2）年に創設された加賀藩彦三種痘所を源流とし、旧制第四高等学校などの前身校の歴史と伝統を受け継ぐ総合大学です。豊かな伝統文化が醸成された学都金沢の恵まれた環境に位置します。

160年という長い歴史の中で、わが国の高等教育と学術研究の興隆に貢献し、我が国を代表する基幹的の大学へと発展してきました。

現在に至るまで、教育、研究およびそれらを基にした社会貢献により地域と世界に資するべく、
不断の改革を続けています（学長メッセージより抜粋）。

（令和5年5月1日時点）

教職員数 4,035人（うち事務職員 500人以上）

学生数 10,331人

角間キャンパスは国立大の単一キャンパスとしては全国屈指の広さ。

自然あふれる広大なキャンパスに、さまざまな施設・設備を保有。

歴史ある古都 金沢の中心部に位置する宝町・鶴間キャンパス。

登録有形文化財として登録された歴史的建造物と

医療分野における最先端の施設・設備が混在。

その他、能登半島を含む7つの地区に教育・研究施設を保有し、

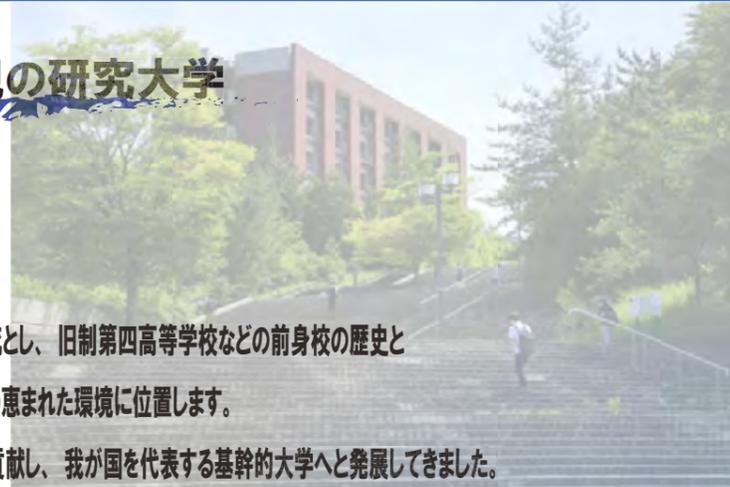
それぞれの施設で学生や教職員が協働して、「オール金沢大学」で

『未来知』による社会貢献のため日々邁進しています。

（令和6年5月時点）

総キャンパス面積 約 241万㎡

建物の保有面積 約 48万㎡

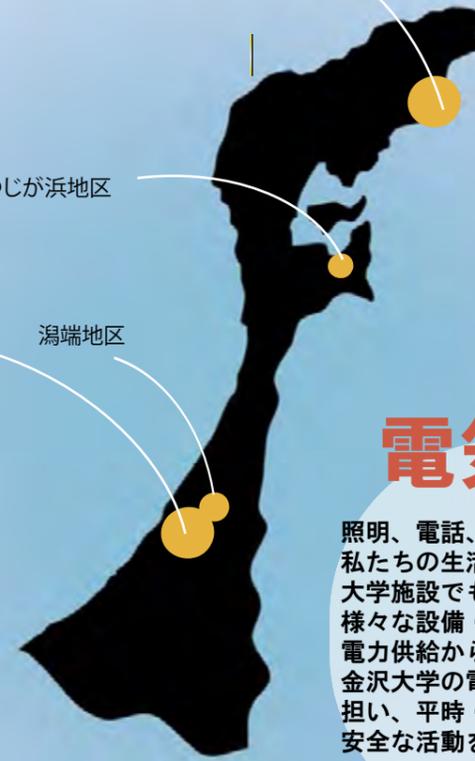


小木地区
越坂地区

つつじが浜地区

角間キャンパス
宝町・鶴間キャンパス
平和町地区
東兼六地区
辰口地区

湊端地区



金沢大学のこれまでを作り、これからを支える

施設部

金沢大学の建物やインフラ設備を計画→設計・積算→工事監理→維持管理

計画立案

- ・整備計画の策定
- ・学内合意の形成

予算要求

- ・概算事業費の算定
- ・学内や国に予算要求

設計積算

- ・設計業務発注、自前で設計
- ・予定価格（工事費）の算出

維持管理

- ・定期点検、報告
- ・予防保全、修繕

工事監理

- ・工程、安全、品質監理
- ・各種調整、確認検査

工事契約

- ・工事の公告
- ・入札



金沢大学で毎日過ごす学生や教職員が安心して利用できる学校施設を建設し、維持管理することが重要な業務です。社会の動きや学びのかたち、技術の進歩、自然災害発生など、変化する環境に適した教育研究施設を整備することで将来を担う人材育成や最先端の研究活動を支えています。

電気

照明、電話、エレベーター、パソコンなど私たちの生活に欠かせない電気。大学施設でも研究設備や医療機器を含む様々な設備・機械に電気が必要です。電力供給から電気設備の維持管理や改善まで、金沢大学の電気に関するあらゆる業務を担い、平時・非常時における学生や教職員の安全な活動を支えています。

機械

金沢大学における給排水設備や空調設備など、大学内の建物の基盤となる設備の管理・運用が大きな役割です。電気同様、水と空気も生活には欠かせないものです。金沢大学で学び、研究・管理運営するすべての人の安全で豊かな施設環境を支えています。



第2中央診療棟
【宝町キャンパス/令和5年完成】



バイオマス・グリーンイノベーションセンター
【角間キャンパス/令和5年完成】



角間キャンパス北地区ソーラーパーク
【角間キャンパス/令和6年完成】



ナノ生命科学研究所
【角間キャンパス/令和2年完成】